

9月定例議会開催



平成28年第5回高梁市議会（定例）が、8月22日から9月9日まで開かれました。8月26日・29日・30日は、一般質問が行われ、10名が33項目にわたって質問しました。議案審議では、市長提出の議案10件のうち、3件を認定、7件を原案可決し、追加議案1件も適任と決しました。市民団体からの請願1件は、不採択としました。

賛否が分かれた主な討論内容

本会議では石部誠議員、宮田好夫議員、宮田公人議員の3名が認定第1号「平成27年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について」、議案第94号「平成28年度高梁市一般会計補正予算（第1号）」、市民団体から提出された請願第4号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請について」を討論しました。

認定第1号について。新図書館・複合施設の経費が含まれている。吉備国際大学への支援金が優先的に予算計上され、市民生活支援とのバランスが取れていないので反対する。議案第94号について。新図書館・複合施設の施設整備工事が含まれている。教育施設である図書館が駅前の商業施設となり、次々と予算も膨らみ問題があり反対する。備中学校の統廃合については、地元合意のないまま強行された。生徒の教育環境や地域のわだかまり、教育委員会への不信感を払しょくさせるために努力されたい。

請願4号について。児童生徒の教育環境の改善のため採択を望む。

は極力なくす方向で執行を望む。全体的には限られた財源の中で効率的・効果的な予算執行を評価する。請願第4号について。子どもが一定水準の義務教育を受けられるのは国の責任。教職員給与の一部を国が負担しているが、2005年度に国の負担が2分の1から3分の1と減少した。子どもたちに行き届いた教育を保障するには、『教職員定数の改善』『学級編制基準の制度改正』『30人以下学級』の実現が不可欠であり採択すべきである。

議案94号について。反対するものではないが、図書館に関わる予算計上がされている。今まで図書館や複合施設の問題点を指摘してきたが見直されたい。指摘してきた問題点が現実のものとならないことを祈る。

9月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

○賛成 ●反対 一欠席

件名	石井	石田	石部	黒川	三村	森田	大森	内田	宮田好	小林	柳井	川上修	長江	植田	川上博	宮田公	大月	妹尾	難波
平成27年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度高梁市一般会計補正予算(第1号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請について	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	一	●	○	○	●	●	●	○	○

※議長は採決に加わりません。◎他の議案は全会一致で可決しました。

決算審査特別委員会

平成27年度の各会計の決算を審査するため、9月1日に決算審査特別委員会が開かれました。一般会計の歳出総額は、対前年度比3・9%減の25.3億6500万円余、14の特別会計を加えた歳出決算の総額38.6億1500万円余を審査しました。

歳入

委員 普通交付税の段階的な縮減が始まっていて、収入確保が課題となる。市民負担の公平性の観点から、市税等の収入率の向上をはかるべきではないか。

執行部 税や使用料の滞納額は前年度に比べ若干減少しているが、5億5000万円弱と大きな金額となっている。高梁市市税等滞納整理本部で、高梁市債権の適正管理・回収強化に関する取り組み方針を決定し、各部署で数値目標をたてて実施する。

歳出

委員 大規模事業に伴う公債費の増加が見込まれ、扶助費等の増加も避けて通れない課題であり、引き続きの行財政改革が必要ではないか。

執行部 昨年は総合計画の後期基本計画の初年度であり、財政シミュレーションを示したが、不確定要素もあるので毎年総合計画の修正・見直しを行い財政計画を立てるなど、中長期的な視点で財政運営を行っている。行財政改革についても現在検討を進めている。

審査結果

決算の審査では各事業に対して、委員から詳しい内容や成果を示すよう求め、執行部はそれぞれの担当部署から詳細な答弁があり、全会一致で認定することと決しました。

総務文教委員会

委員 ふるさと納税の返礼品を充実させるとあるがどうなっているのか。

執行部 9月1日から市内企業から公募した特産品36品目の登録でスタートしている。

委員 補正予算の中に、図書館費5100万円の増額がある。どのような内容か。

執行部 西側駐車場工事費の2200万円の純増と、施設西側のライント工事費2900万円を委託料から工事費に振り替えたものである。

委員 ブラインド工事はもともとあったものか。

執行部 当初設計にはなかったが、協議のなかで必要と判断した。

委員 西側駐車場の工事内容と駐車可能台数どうか。

執行部 場所は駅前交番横。パー設置やライン引き、駐輪場の屋根を設置する。規模は自動車20台と自転車20〜30台を予定している。

※1 収入未済額…年度内に支払われなかった税金や手数料などのこと
 ※2 不能欠損処分額…徴収できなくなった税金や手数料を、一定の手続きを経て欠損と認定すること。